

長井市公共複合施設整備市民検討委員会
議事録

令和3年9月30日

長井市公共複合施設整備市民検討委員会 出席者名簿

■委 員

No	氏 名	所 属 等	出 欠
1	加藤 俊昭	長井市社会教育委員会 委員長	出
2	長沼真知子	長井市振興審議会 委員	出
3	横山 敬生	長井中央商店街振興会 会長	欠
4	倉持 宏幸	長井市立図書館 館長	出
5	梅津 洋	長井小学校 校長	欠
6	平 みわ	前長井市図書館協議会 委員長	出
7	大津 君彦	市子ども育成会連絡協議会 副会長	出
8	大峽登詩子	おひさま保育園 園長	出
9	鈴木 良昭	白山こども園 園長	出
10	鈴木 英明	本町大通り商店街振興組合 理事長	欠
11	村田 佳子	総合学習指導塾七色学舎	欠
12	高世美恵子	株式会社高世工務所	出
13	平 奈緒	公募委員	出
14	渡邊 洋男	公募委員	出

(順不同、敬称略)

■事務局

1	齋藤 環樹	副市長
2	竹田 利弘	政策推進監
3	青木 邦博	技監(兼)建設参事
4	高橋 嘉樹	地域づくり推進課長
5	鈴木 幸浩	子育て推進課長
6	佐原 勝博	建設課長
7	吉川 幸代	総合政策課 総合戦略室長
8	佐藤 裕子	地域づくり推進課 補佐
9	鈴木 千佳	子育て推進課 補佐
10	鈴木 満成	建設課 公共施設整備室長
11	高石 学	建設課 公共施設整備室係長
12	佐々木 優	建設課 主任

■事業者

1	伴 達也	グンゼ開発株式会社 エステイト開発事業部長 グンゼエンジニアリング株式会社 代表取締役社長
2	神戸 郵希	ニッケアウデオ SAD 株式会社 事業統括本部 開発部 部長
3	山野 信彦	安井建築設計事務所 東京事務所設計部 設計主幹
4	中林 原野	安井建築設計事務所 東京事務所設計部 設計主任

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 副市長あいさつ

本日は、7月の第2回検討委員会に引き続きご出席いただき感謝。

公共複合施設整備事業は市の各種計画において重要施策として位置づけられており、市民の皆様の期待も大きい。本日まで設計を進めており、当初の予定どおり10月から工事に着手できるよう準備を進めているところ。

8月30日には整備地で安全祈願祭を実施した。また、昨晚には整備地近隣住民の方々に對して工事説明会を開催し、工事の概要とスケジュールをご説明申し上げた。

本日は、前回の検討委員会で頂戴したご意見への対応状況や、今後の工事のスケジュール等についてご説明させていただくので、忌憚のないご意見を頂戴できるよう、よろしくお願いする。

4. 委員長あいさつ

今日は事務所から会場まで歩いてきたが、道すがらいろいろな発見をすることができた。長井は水と緑と花と謳っているわけだが、水があり、花が咲き、木々が生い茂っていて、改めて長井ならではの景色だと感じた。そんな長井を代表する複合施設ということになるが、資料を見ると複合施設に來ればそのすべてを満喫できるというような施設を目指していることがわかる。水があり、花があり、木々もあり、そして長井の文化を代表する殿堂として、今後羽ばたいていくという施設になるということを、実感しながらここに來た。

今日は3回目ということで、委員の皆様にとっては回を重ねるごとに身近なものとして感じられると思うし、ますます愛着を持ってもらえると思う。ということは、言いたいことは言っておかないと後悔を残すということにもつながると思う。この機会を存分に活かし、自分なりに考える複合施設の在り方を忌憚のないご意見として承って、今後につなげていければと思うので、ご協力をお願いしたい。

余談だが、市庁舎からの飯豊山の眺めが素晴らしい。今日は霞んでいるかもしれないが、西山は青く澄んでいる。機会があるときに眺めていただければ、改めてここはすごい所だということが実感できると思う。

5. 協議

(1) 公共複合施設整備事業の進捗状況について

資料1及び資料2の内容について事務局から説明を行い、その後質疑応答を行った。

委員長：委員から意見があった水盤周りについてはどうか。

委員：イメージを見ると良く見えるが、ベンチの数はもう少し多くても良いかと思う。スペースの問題等もあるかとは思いますが、パラソル付きのベンチだけではなく、簡易的に腰

かけられるものもあっても良い。

事務局：水盤は基本的に夏に使う物なので、ベンチの数やパラソルの有無については運用も考えて柔軟に対応できるようにしたい。

委員長：季節ものということも、固定化することのリスクもあるので、移動できるようなものも考えながら、状況に合わせて検討するという考えのようだ。

委員長：委員からいただいた意見について、今の段階での回答を得たがいかがか。

委員：丁寧にご回答いただき、ありがたく思っている。

委員長：委員からも出ている内容があったが、説明についていかがか。

委員：できてみないとわからない部分で、回答が出ない話もある。今の段階ではこれで結構と考える。

委員長：委員からも、前回欠席だったが後からご意見を賜ったということで、事務局からの説明についていかがか。

委員：3人の子を持つ母親の視点から気になった点として、授乳室や多目的室について電話でお話しさせていただいた。本日図面を拝見したところ、とても使いやすく変更されていたのでありがたい。

委員長：懸念されていた点は概ね解消されたという認識でよろしいか。

委員：はい。

委員長：委員からも出ていたが、この対応についてはいかがか。

委員：荷物置き場を増やしていただいてありがたい。他にも増やすという話もあったのでその点も助かる。対称的なところにあると良い。

委員長：前回いただいた意見に対する対応策を提示いただき、概ね問題ないということで納得いただいたようだ。

本日の資料を見て、課題とを感じる部分や質問等があればと思うが、いかがか。

委員：排水溝の場所については、要望を出した委員に意見を聞いて決めていただきたい。

多目的室は基本的に飲食をして良い場所になるのか確認したい。親子連れはおにぎりやおやつを持参することが多いので、すぐに食べられるところは多目的室という認識で良いか。その場合は寝転がれるところが大切になるので、ちょっとしたスペースではなくしっかり設けてほしい。また、飲食スペースと飲食不可の場所は明記していただくとありがたい。

遊戯施設側のトイレには、子ども用の小さいトイレを付ける予定はあるのか。特に男の子は高さが届かない。座敷用の小さいトイレも、子どもがひとりでそれを使えば力になるので、設置予定を教えてください。

事業者：水分補給は重要なので、遊戯施設場内全てで可能。食べ物については衛生面の問題があり、食べ歩きをされても問題なので、場内全てではなく多目的室2の中であれば自由に食べることができるという計画。

小上がりについては畳を敷いて、畳の周りを30cmくらいの高さのクッションで囲って使い、部屋をイベントで使う場合等は撤去するという運用が良いと考えている。懸念点として、普通のイス・テーブルからは見下ろす形になり、お互いに居心地が悪く感じる事が考えられるので、イス・テーブルの高さを少し低くする等、居心地の確保について今後検討をする必要がある。

トイレは弊社が運営する他の施設の実績から、男性用の小便器はあごの部分が低いものを選定するので、子どもも問題なく使える。子ども用の便器はメーカーから出ているが、非常に高価かつ壊れやすいものが多く、設置しないことが多い。大便器は便座が二重になっているパターンと、可動式のアタッチメントを使うパターンの2つあるが、どちらかで対応したいと考えている。小さい大便器もあるが、子どもが少し大きくなると使いにくくなったり汚したりするので、今のところは大人用の便器にアタッチメントを付けて対応したいと考えている。

事務局：排水桝は委員に確認の上決めたいと思うが、今の図面では駐車場の内部なので、車の荷重等を考慮し、駐車場脇の緑地に入れるのも一つの方法と考えている。

委員：建物西側に再生木デッキと書いてあるが、これはエントランス的な意味を持つデッキではなく、腰かけられるものという認識でよいのか。

緑の広場左下のベンチと書いてあるところは、ベンチの他にデッキのような状態になるのか確認したい。

事業者：再生木デッキは、周りの芝生と同じくらいの高さのデッキで、机やいすを置いて休憩等できるもの。

緑の広場左下の部分はベンチを並べて、その周りはデッキではなくコンクリート等の舗装で仕上げる想定。

委員：デッキに置く机やいすは常設のものになるのか、建物の中から持ち出して設置するようなものか。

事業者：想定しているのは可動式のもので、雨が降ったときなどに使えない場合はしまえるようなもの。

事務局：例えばカフェがあるが、テイクアウトしてデッキで飲むようなことも考えられる。

委員長：緑の広場に人が集まる導入経路として、建物の北側を通るルート、南側のルート、建物内部を通るルートの3つあると思うが、どれがメインと考えているか。

事業者：ルートは3か所あるが、どこがメインというのは決まっていない。広場の目的として利用者が回遊することを想定しているため、どこからでも入って散策できるように考えている。多くの方は建物内を通して抜けていくことを想定しているが、次に北側のルートから入ってくる人が多いと考えられる。

委員長：南側の今後の利活用という話が前からあり、協同薬品工業の土地の活用も含めた部分が重要と考えている。南側からのアクセスを考えると、少し分断されるような形で作られているので、もう少し工夫していただきたい。回遊性が大事なので阻害しないように、例えば横断する部分の色を変えていただくなどご検討いただきたい。

事業者：こちらも懸念として考えていたが、BM車庫も重要と認識していたためこのような形になっている。BMが常に行き来しているわけではないので、常には人が回遊できるように考えており、そのために素材を変えて花の広場から緑の広場への連続性が出るように今後検討していきたい。

委員：多目的室の琉球畳は、素材がい草だと子どもが吐いた時や除菌する際に大変。保育園では洗える畳マットを使っている。これからは常に消毒すると思うので、畳の素材はそのような点も考慮して決めていただきたい。

一時預かり室には個室があると助かるという話をしたが、1日に預かれる人数などは決まったか。パーテーションでもいいのでスタッフ室を個室として利用できればよい。

事業者：畳の素材については拭き上げ可能なもの等から慎重に選定したい。

事務局：一時預かりの詳細はまだ決まっていない。利用人数やスタッフの配置状況等でも変わってくると思うが、個室は必要という考えはある。可動式の間仕切りはできそうなので、引き続き検討する。

委員：ベビーカーは貸出しという話だったが、使う人にもいろいろいるので衛生面の担保はどのようにするのか確認したい。

図書館はゾーニングの工夫で音が奥まで聞こえにくいということだったが、子どもは動き回るものなので、デザインや景観上の問題があるのであれば、透明な仕切りは考えられないのか。

トイレの便座の件は、1、2歳児にはトイレを分けて設置している。簡易的なものや、オールラウンド的な考え方では小さい子ほど使いづらい。特に大便器は少数でも子ども用のものが必要ではないか。

事業者：ベビーカーの持ち込みに関しては、タイヤを拭いた程度では不安視される方が多いので困難。場内用ベビーカーの衛生管理に関しては、使われた都度拭き上げる、除菌スプレーを噴霧するという対応。

便器に関しては設置台数や、利用者数、利用者像、利便の問題もあるので、引き続き検討したい。メーカー品などいろいろあるので、設計者とも協議の上決めていきたい。

事務局：図書館については、当初のコンセプトとして開放感を大事にゾーニングを進めてきた。子どもが図書館で何でもしていいという訳では無いと考えており、子どもに対して図書館は静かな場所だということを教育することも必要。最初から子どもが

騒ぐことを前提としたつくりをするのはどうかという考え方もある。その中で音の流れを考えたゾーニングにしたということなので、前回の回答と同じになるがあえて間仕切りをするということは考えていない。

委員：子どものしつけという部分では、公共機関を使うことに関して保護者の責任は大いにあるが、とはいいつつも子供の特性は理解している。図書館が全ての人にとって快適に過ごすことを考えると、子どもには教えることは教えなければならないが、大声を出したり走り回ったりする子供はどうしても出てくる。それを前提に考えると、景観を重視して機能を果たせないとなったら本末転倒ではないかと考えた。目隠しになるようなものでは無い仕切りを模索する余地はあるのではないか。

事務局：例えば、イメージとしては腰くらいの高さの仮設フェンスの設置ということも考えの一つになると思うが、機能、景観どちらを選ぶかということにもなるので、もう一度検討させていただきたい。

委員長：今のところは、どちらに転んでも何とかなるように模索することだと思う。いろいろな考え方があり、委員ごとに温度差がある問題だと思う。許容範囲の落としどころがどの辺になるのかということだが、壁は無理でも少なくともハードによって対応ができる状況だという前提を認識できていれば良いと考えている。

委員：冬期間の長靴の使用率が高い。子どもはほぼ100%長靴を履き、親も長靴が多いが、長靴入れの数は適当か気になった。

事業者：他の施設の事例を参考にして増やすことを検討したい。もしくは、冬だけ長靴を入れられるような可動式も含めて検討したい。

委員：児童コーナーの方に独立した児童受付カウンターは必要なのか。フロアの有効活用と人員配置の点から、無駄になるのではないかと思う。一般の受付カウンターと併せて対応できる方が長井市の規模なら適切ではないかと考えている。

児童受付の周りに自動貸出機と検索機があるが、読書通帳機を子どもに使ってほしいので、通帳機も一緒に並べて配置してほしい。

図書館のバリアフリー法が出てから、段差を作らないのが一般的になっているため、裸足スペースは小上がりではなく段差がない方が良い。

おはなしコーナーはどのような作りになるか。あまり作りこみしないスペースであれば、遊戯施設2階の本の森で読み聞かせイベント等をするという考えなのか。そうでなければおはなしコーナーを作りこんでほしい。

ティーンズコーナーは本当に児童コーナーの一角になるのか。中高生の利用が少ないことが悩みなので、特に高校生の駅利用のついで利用を呼び込みたい。酒田市の図書館は一つのスペースの運営を高校生に任せているのだが、同じようにティーンズの要望をぜひ聞きたいと思っている。

キックステップがたくさん配置されているが、理由を教えてください。

ブックトラックが2か所にあえて固定式に書かれているが、どのように使うことを想定しているか。

閉架書架は電動か、手動か。

ブックポストのイメージがはっきりしないが、どこにどのようにつくられるのか。

移動図書館車の動線を考えると、出入口が2か所になっていて、どうしても駐車場を横切らなければならないが、できれば横切らずに最短距離で出入りできないか。専用の出入口も良いが、南東角に出入口が作れないか。

事務局：ご意見がたくさんあるので、会議が終わってから改めてお聞きし、今はすぐに答えられる内容のみお答えさせていただきたい。

事務局：児童カウンターについては、資料には反映しきれていないが検討している。委員がおっしゃるとおり、児童カウンターに1人配置するのは大変なので、一般カウンターを延長して児童カウンターも併設するように考えている。

読書通帳機の配置についても、カウンターの変更と併せて検討したい。

小上がりについては、子どもが寝転がって本を読んだりリラックスしたりできる場所という設定で、床はフローリング。靴を下にしまえるように、少し高さを付けている。イメージとしては南陽市や白鷹町の図書館のように段差を作っている。

キックステップは腰かけられるもので、移動ができるものを4か所に配置している。イスやソファ等、利用者が自分なりの居場所を見つけられるような家具の配置をしている。

委員：キックステップについてはスツールとしての利用と、踏み台を兼用するという考え方でよいか。

事務局：はい。

委員長：その他の細かい内容は後程個別に回答いただくということで進めさせていただく。

第一校舎にも小上がりのスペースがあったと思うが、そちらの利用状況から図書館の方のスペースに何かヒントになりそうなことはあるか。

委員：第一校舎は図書館ではないので、色々な方向けの物を置いている訳ではない。絵本はたくさん置いてあるので、小上がりに上がっていただき親子で読み聞かせができるような場所としてテーブルが2つ置いてある。稼働を考えると平日の日中は小さい子どもが多く来るので賑わっているし、土日も多い。うまく時間帯によって利用者が変わるようになっていて、午前中は小さい子どもを連れのお母さんや高齢者がお茶飲みに来てくれたり、コワーキングで仕事をする人が寄ってくれる。昼はカフェにランチに来る人が多い。昼下がりには小学校から帰る子ども、夕方は高校生が勉強に来る。貸室の利用もあるため一日中賑わっている。

ヒントになることは、ゾーニングの話があったが、私も囲うのは好きではないと考えている。運営して思うのは、公共の場ということを理解していただいて過ごしてもらうというのが大事。小上がりでも親子のコミュニケーションがあったり、ふれあいがあったりということが大事。高校生が勉強している横を子どもが騒ぐこともある。前提として図書館ではないということはあるが。

委員長：たまに駅に寄ると、高校生が勉強していて座る場所がない程のこともある。危惧さ

れていた高校生が使ってくれる施設として、大事な施設になることを期待している。居心地が良ければ来てもらえると思うので、期待したい。

委員：14ページの図面には、多目的室に外部につながる窓か扉があるように見えるが、15ページの図面にはそれが無い。これは窓なのか、扉なのか。また、図面はどちらが正しいのか。

事業者：14ページの図面が正。点線で書いてあるのは扉で、外に出られるもの。普段使うかどうかは運用次第だが、出入りできるように付けている。

委員：グンゼは大正時代からの歴史があり、市の近代の文化遺産のように感じているのだが、何もなくなるのは寂しく感じる。モニュメントのようなものを残す考えはあるか。

事務局：敷地内にあった「我らが工場」と書かれた石碑は残す。そこに標柱等を立てて示すという考え方はある。

事業者：18ページの図面に石碑を記載している。長井アパレルの元従業員からの要望があり、市に相談した上で石碑を残すことになった。

委員：カフェの事業者は決まったのか。

事務局：まだ決まっていない。

委員：子どもと一緒に行くことを考えると、リーズナブルでなければ1度きりになると思う。おしゃれなのも良いが、値段の問題や小上がりやたたみスペースも必要になる。今は離乳食レストランというのがあり、興味を持っている人が多い。子どもも食べられるものを提供するということを重視してもらえると、親子連れも何回も来たくなると思う。

事務局：カフェについては事業者にすべて任せる訳ではなく、親子で食事をできたり、本を借りて静かに読んだり、色々な使い方に対応できるように市側からも要求をした上で事業者を選定したいと考えている。

委員：私自身は図書館をあまり利用しない。3人の子どもを追いかけきれないので、静かに過ごしたい大人の邪魔になるかもしれないと思い行きにくかった。図書館で何がしたいかというと、子どもと本を選んで、読み聞かせをして、借りていったり気に入った本を買うというようなことをしたいので、話すということは不可欠になる。仕切りは難しいと思うが、床の色を子どものスペースは少し明るい色にし、大人の落ち着いたスペースは暗めにするなどして、子どもにとっても分かりやすいようにしてはどうか。親にとってもはっきり範囲が分かれば声掛けがしやすい。

読み聞かせはソファやテーブルだと思うが、中央側ではなく駐車場側の壁際の方に動かせば使いやすいのではないか。

事務局：色分けをするという案はとても良いと思う。視覚的にわかりやすい。

子どもとの読み聞かせは、閲覧スペースやおはなしコーナーも使っていただける。

おはなしコーナーは床がカーペットになっており、寝転がったりしてくつろいで本を読むことができ、ドーム形状になってこもった形になっているので声を出しても問題ない。

(2) 今後の整備スケジュールについて

資料3の内容について事務局から説明を行い、その後質疑応答を行った。

なお、説明の中で施設名称及びロゴマーク募集に関連し、委員に一次審査をお願いする旨と、来年1月下旬頃に市民検討委員会を開催し、一次審査の結果報告と事業進捗報告をさせていただく予定である旨を説明した。

委員長：大まかなスケジュールが示された。オープンはいつを予定しているか。

事務局：建物が3月で完成して、外構まで全て完成するまでの4か月間で、どこまでオープンに向けた準備ができるかにもよるが、8月からすぐにオープンとはならないので、少し時間がかかると思われる。

委員：令和4年度の検討委員会は何回くらいか。

事務局：1～2回程度と考えている。進捗状況の報告が主な内容になるかと思う。

委員：ハード整備のスケジュールは承知したが、並行して運営面の細かい検討もしていく必要がある。今の時点でどのようなスケジュール感をお持ちか教えていただきたい。

委員：関連して。図書館の立場としてだが、引っ越しになることに伴い、本1冊1冊にICタグを貼り付ける膨大な作業がある。また、本の移動先の計画を立てる必要もある。図書館引っ越しに伴う作業のスケジュールを早めに示していただかないと、スタッフが心配している。来年10月19日に県の図書館研究大会があり、どうしても長井で開催しなければならない状況。かなりの作業量が入るので、見通しが持てるようにお願いしたい。

事務局：複合施設は建物が1つなので、1つの事業者指定管理をしてもらう計画をしている。一般的に2とおりの決め方があり、建物ができる前に管理者を決める方法と、できてから決める方法があるが、運営や使い勝手を考えると、今回は建物ができる前に決める予定。しかし、着工もしていない段階から選定を始めることはほぼできないため、今年度中の選定は不可能。令和4年度中になるべく早く決めたいと考えているが、市議会に2回は諮る必要があるので、少なくとも6か月はかかる。決定が完成直前にならないよう、できるだけ早くということで検討している。

委員：今日も提案や要望が多く出ていたと思うが、来年1、2回の会議があるとのことだが、要望は今回で最後ということになるか。それとも来年の会議でも要望などを出しても大丈夫なのか。

事務局：工事が進めばその段階では対応できない内容も出てくるし、対応可能なものもある

と思う。今日いただいた意見については、対応可能なものは検討して、今後の会議でお示ししていくということになる。

(3) その他

委員：前回までの資料を見せていただき、年間30万人の来館者を見込んでいるという記載があった。30万人がどの程度なのか調べてみたが、仙台のアンパンマンミュージアムが年間25万人。30万人というのはすごい数字だと思うので、根拠を教えてください。

事務局：図書館と子育て世代活動支援センターの面積と、一人当たりの占有面積から算出したというのがひとつの根拠。また、天童市や山形市等、近隣の子育て施設の利用者数との比較というのも根拠のひとつ。図書館との複合施設という例は無いので、遊戯施設利用者想定と図書館利用者想定を足して、30万人という目標値として設定した。これだけの施設を作る上では、これくらいの数値目標を示せないようでは事業できないという考え方もある。

6. その他

事務局：スケジュールの説明の中にもあったが、年明けに名称募集の選定作業をお願いし、検討委員会でお集りいただくことを予定しているので、よろしくお願いします。

7. 閉会